

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 4 月 5 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp



【ネパール カトマンズ市職員の技術研修の様子】

## ネパール・カトマンズ市職員が 横浜で技術研修を受講しました

3月13日から17日まで、ネパールの首都・カトマンズ市で震災（2015年4月発生）の復興を担っている技術職員3名が横浜で研修を受講しました。

この研修では、建築局・都市整備局が中心となり、建築法令等の遵守に関する意識啓発、設計・施工の際の品質管理や、災害に強いまちづくり等について講義を実施したほか、現市庁舎の免震装置や公共施設の工事現場、市民防災センター等の視察を行いました。

また、市内企業のご協力により、鉄骨の製造現場（(株)青柳製作所様）、産官学の連携で設置しているスマートウェルネス体感パビリオン（すてきなイスグループ(株)様）の視察も行いました。

横浜市は引き続き、シティネットの会員であるカトマンズ市の技術職員育成を通じた復興支援を進めていきます。



## 世界を目指す若者応援事業留学 報告会を開催しました

3月23日に、本市が高校生を対象に留学を支援する「世界を目指す若者応援事業」を活用して、27年度に留学した生徒による報告会を開催しました。

三菱東京UFJ銀行 国際業務部 吉田 拓哉 氏から「グローバル企業で活躍する先輩社会人のお話」をいただいた後、高校生の皆さんから、留学先での経験や、学んだことなどを発表していただきました。さらに、一定額以上のご寄付をいただいた企業の皆様に感謝状をお贈りさせていただきました。

本事業を通じて留学された皆さんが、今後グローバルな舞台で活躍してくれることを期待しています。

※横浜市は、「子ども・若者の育成・支援」として、将来、国際的な舞台で活躍できるよう「グローバル人材の育成」を進めています。

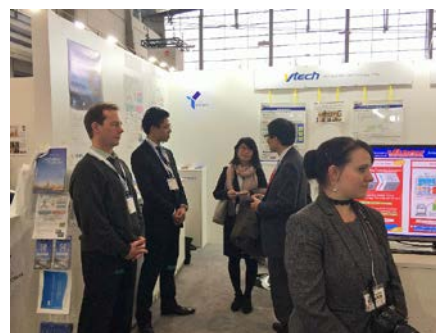
「世界を目指す若者応援事業」では、高校生が、世界に挑戦し、英語力をはじめとするコミュニケーション能力や、異なる文化・価値観を理解する力を身につけるのはもちろん、将来的には、国際社会に貢献できる一員に成長するきっかけになることを目指しています。

## ドイツの世界最大級の IT 見本市 に横浜市が出展しました

世界最大級の IT 関連見本市「CeBIT（セビット）2017」が、今年20日から24日までドイツのハノーバーで開催され、横浜市フランクフルト事務所は IDEC（横浜企業経営支援財団）と連携して「横浜ブース」を出展しました。

同ブースでは、横浜に立地する企業3社（インフィニテグラ(株)、ファルコン電子(株)、ベリフィケーションテクノロジー(株)）が各社の最新技術を紹介し、来場者から多くの注目を集めました。

フランクフルト事務所は、地元ノーダーザクセン州中小企業局長と各社の面会のコーディネーターや、来場者へ横浜の PR を行いました。



（横浜市が出展したブース）